

# 第 1 学年〇組 社会科学習指導案

## 1. 単元名 国々の誕生と古墳文化

### 2. 単元について

#### (1) 単元観

この単元は、学習指導要領の歴史的分野、1の(4)「身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味・関心を高め、様々な資料を活用して歴史的な事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する野力と態度を育てる。」に關係する。人類の出現から文明の発生へという世界の動きの中で、日本列島では狩猟・採集の生活が農耕の広まりとともに変化し、国家が形成されていったことを東アジア、特に中国との関わりの中でとらえさせる。まず、1世紀から3世紀頃の中国と日本の国の状況が全く異なることである。中国にはすでに帝国が築かれており、その中で政治や学問、文化が発達していた。一方中国周辺の地域には、まだ未発達な地域がほとんどで、日本にもまだ小国家しかなく、すべての面で日本は中国というアジアの大帝国から大きな遅れをとっていた。中国が周辺の国を、「東夷」「西戎」「南蛮」などと卑下する呼び方をしてきたことから、当時のアジアの状況がよくわかる。日本がこれから発展するために、どうしなければならないのか、生徒に考えさせたい。また、将来的には、国の繁栄というのは、永久に続くものではなく、その時の世界情勢や国王の政治の善し悪しなどで変わってしまうということも教えたい。特に中国や日本では20世紀の帝国主義や植民地争いが、かなり国の盛衰に影響したこともつかませたい。

ここでは、日本と中国の關係に絞り、当時の中国の情勢、日本の情勢の違い、あまりにもアジアから疎外された日本が、権力アップや文化を取り入れるために、中国を利用したかを理解させたい。まず、授業では、いくつかの課題について、じっくり考えさせる(予想)とともに、考えるための手だて(調べる・検証)を繰り返しながら授業を進めていく。また、生徒に必要な資料を自力で見つける力や探す力、またその資料を理解する力を身につけさせるようにしたい。

#### (2) 指導内容の系統

小学校6年では、「国の成り立ち」を小さな国から大和国まで、大まかに学習している。中学1年では「国々の誕生と古墳文化」の単元で、大陸の東にある小国である日本の国が大きくなっていく過程で、中国をお手本にしたこと、中国の力を借りて、権力を強めていったことをつかませている。

#### (3) 生徒の実態 (男子17名, 女子12名, 計29名)

全体の生徒の雰囲気は、明るく元気である。「聞く姿勢」、「書く姿勢」、「考える姿勢」、「発表する姿勢」から見ると、全体的には、「書く姿勢」が一番良くできている。ノートやプリントなどをチェックすると、ほとんどの生徒はきちんと記録されている。しかし、「考える姿勢」については、課題が多い。わからないことはすぐに考えることをやめてしまったり、ほかのことを考えたしまう。「発表する姿勢」については、何人かの生徒は、だれが聞いてもわかりやすい発表ができる生徒がいる。しかし発表するというのを恥ずかしいと思ったり、苦手に思ったりする生徒が多い。

実態調査結果は、以下の通りである。(実態調査時 29名) 5月17日実施

① 奴国について知っていること	③ 1世紀から3世紀頃の中国の皇帝名
<ul style="list-style-type: none"> <li>・米づくりをしていた。…1人</li> <li>・争いをはげしくしていた。…1人</li> <li>・狩りをしていた。…1人</li> <li>・生活がたいへんだった。…1人</li> <li>・わからない・無回答…25人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢…5人</li> <li>・周…1人</li> <li>・秦…3人</li> <li>・奴国…1人</li> <li>・わからない・無回答…19人</li> </ul>
② 邪馬台国について知っていること	④ 1世紀から3世紀頃の中国の特徴
<ul style="list-style-type: none"> <li>・女王卑弥呼の存在…18人</li> <li>・卑弥呼は雨乞いができたらしい…3人</li> <li>・魏と関係があった…1人</li> <li>・30の国を従えていた。…1人</li> <li>・どこにあったのかよくわかっていない…1人</li> <li>・わからない・無回答…6人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のトップ…1人</li> <li>・王がいる…3人</li> <li>・大きな国だった…1人</li> <li>・文明が栄えていた1人。</li> <li>・シルクロードをわたっている。…1人</li> <li>・わからない・無回答…17人</li> <li>・進んだ文化…1人</li> <li>・甲骨文字…1人</li> </ul>

奴国の存在については、既習事項がほとんどないため、わからない生徒がほとんどである。しかし邪馬台国については、かなり理解していると判断できる。そして、その頃の中国の様子や中国と日本の關係については、詳しく捉えている生徒は少ないようである。

以上のことから、課題に対して、じっくり考えさせることが一番大切だと思う。また、生徒各自が適切でなおかつ必要な資料を、どこから持ってくるのか、どう調べるのかの力をつけさせたい。適切な資料を見つける力、探す力は社会科ではかなり重要と考える。

### 3. 単元（題材）の目標

#### (1) 関心・意欲・態度

人類の出現や古代文明の発生、日本列島における人々の生活のあらましに対する関心を高め、意欲的に学習しようとする。

#### (2) 思考・判断

金属器の使用、かんがい、文化の発生などから、古代文明の特色の特色をとらえ、日本の社会に与えた影響について考察できる。

#### (3) 技能・表現

日本の国家が形成されていく様子を中国の文献などから読み取ることができる。

#### (4) 知識・理解

東アジアとのかかわり、古墳の広まり、大和政権による統一など、国家が形成されていったあらましを理解できる。

### 4. 指導計画（5時間扱い）

- |                  |          |
|------------------|----------|
| (1) 人類の出現と日本列島   | 1 時間     |
| (2) 文明の発生と東アジア世界 | 1 時間     |
| (3) 縄文文化と弥生文化    | 1 時間     |
| (4) 国々の誕生と古墳文化   | 1 時間（本時） |
| (5) 大王の時代        | 1 時間     |

### 5. 本時の指導（4／5）

#### (1) 目標

- ① 日本の国家が形成されていく様子を、魏志倭人伝などの中国の文献などから読みとることができる。  
**（技能・表現）**
- ② 日本の国家が形成されていく過程のあらましを、中国とのかかわりを通して理解することができる。  
**（知識・理解）**

#### (2) 仮説との関連

##### 校内研究の研究仮説

学習方法の工夫や評価を生かした授業の改善により、基礎・基本の定着を図れば、生徒は意欲的に学習活動に取り組むだろう。

##### 本時の基礎・基本

#### (3) 展 開

学習内容と生徒の活動	時配 (形態)	教師の指導(○)・評価(■)	資料
1  奴国と邪馬台国で共通している点を教科書や資料集で調べ、発表する。 ・存在した場所→北九州？ ・その当時、日本（倭）に存在していた国の中では、大きな国だった ・「使い」を中国に送っている。 ・中国の王から「金印」をもらっている。	5分 (一斉)	○ 調べ方で困っている生徒に対し、いくつかの解決方法を提示する。  ○ 比較して気がついたことから、自分の興味・関心があることを考え、本単元の学習を進めるための自分なりの課題を持つように助言する。  ○ 発表がでにくいようなら、例えを挙げるなどのヒントをだす。	金印の模型
2  なぜ中国の歴史書にしか日本の様子が書いてないのか、予想し、発表する。 ・中国は「漢」「魏」などの大帝国が築かれていた。→かなり文明が進んでいたのので、できごとなどを記録する習慣があった。 ・日本はまだ国や文明が発達していなかったのので、記録する習慣がない。 ・日本にはまだ文字がないのではないか。	5分 (一斉)	■ 進んで発表し、授業を盛り上げようとする。(発表)	中国の歴史書名の模造紙を張る。

<p>3 2の予想を別紙の資料で確認をする。</p>	<p>5分 (一斉)</p>	<p>○ 生徒が、主体的に調べ学習を進められるように、別紙資料を準備する。</p> <p>■日本の国家が形成されていく様子を、中国の文献から読み取ることができる。(技能・表現)</p>	<p>別紙資料</p>
<p>学習課題 なぜ日本(倭)は中国の皇帝に使いを送ったり、中国の皇帝から金印をもらいたかったのだろうか。</p>		<p>学習課題の模造紙</p>	
<p>4 もともと、中国ではどういう目的で「金印」や「銅印」をつくっていたのか、予想し、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・王が何か大事な書類のために押した印</li> <li>・政治を行う時に使った</li> <li>・</li> </ul>	<p>5分 (グループ)</p>		
<p>5 4の予想を別紙資料で確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内の王侯貴族や官僚に、身分を証明するしるしとしてあたえた。</li> <li>・友好関係にある異民族(外国)の首長(王)に、そのしるしとして、あたえた。</li> </ul>	<p>10分 (グループ)</p>	<p>○ 机間をまわりながら、調べ方がわからない生徒には、どのように調べるのか具体的に教える。</p>	<p>別紙資料</p>
<p>6 これまで学習したことから、今日の「学習課題」について、各自でまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が、進んだ文明を持った中国から、色々な文化や技術や制度を取り入れるために使いを送った。</li> <li>・日本が、中国から「金印」をもらう意味は、日本の王がそれを権力の象徴として、周辺の国を従えるのに使いたかった。</li> </ul>	<p>20分 (各自)</p>	<p>○ まとめかたがわからない生徒には、今までの学習したことを、もう一度確認し、ヒントとなることがないか、探すよう助言する。</p> <p>■本日の学習から、日本の国家が形成されていく様子を、中国のどのかわりを通して理解することができる。(観察)</p>	<p>別紙資料</p>

(5) 板書計画

<h2>国々の誕生</h2>	<p>日本と中国を中心にした世界地図</p>	<p>学習課題 なぜ、日本は中国に使いを送ったり、金印をもらおうとしたのだろう。</p>
<p>○ 奴国と邪馬台国の共通点はどこだろう。 ○ 中国で金印をつくった目的は、何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あった場所 → 北九州あたり</li> <li>・ その頃では大きな国だった</li> <li>・ 中国に使いを送っていた</li> <li>・ 中国の王から金印をもらっていた</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 王が大事な書類のために押した印</li> <li>・ 政治を行う時に使った。</li> </ul> <p>☆調べてみると…</p> <p>○ なぜ、中国の歴史書にしか日本の様子が書いてないのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本は国が発展してない → 記録することを知らない。文字を知らない。</li> <li>・ 中国は文明が進んでおり、漢字を使っていた。 → 記録する習慣がある。</li> </ul> <p>☆調べてみると…</p> <p>○ 今までの学習や、資料から学習課題の答えを書いてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使いを送ったねらい… 進んだ文明を持った中国と仲良くなり、文化や技術などを取り入れるため。</li> <li>・ 「金印」をもらう意味… 日本の王が権力を他の国に示し、従えさせるためにほしかった。</li> </ul>		